

# 口腔外科の入院手術について



## 抜歯や嚢胞の手術

本パンフレットには、入院後から術後の様子や注意事項を記載しています。読んでいただき、これからの入院生活の参考にしてください。

## 目次

- ・ 入院当日に行うこと
- ・ 術後の注意事項
- ・ 合併症について
- ・ 抜歯翌日について
- ・ 退院後の生活について

碧南市民病院

## 入院してからの流れ

### ◆ 担当看護師が挨拶をし、本日の入院・手術の経過を説明します



- 病室へご案内します。病棟内の施設の説明をします。
- 書類の確認をします、看護師に渡してください。

- ・手術説明・同意書
- ・入院診療計画書
- ・「エイズ検査」のお願い
- ・入院前確認表（2枚つづり）

- 体調がすぐれない場合やアレルギーなどある場合は、お知らせください。その他、ご要望もお聞かせください。



### ◆ 入院後の食事について

- 手術を予定していますので、昼食は食べことはできません。
- 飲水は水・お茶でうがいをする程度にしてください。
- 昼の内服薬がある場合は、お知らせください。

### ◆ 手術時に必要な点滴をします

（通常はお部屋で行いますが、手術室や外来で行うこともあります。）

- 病院のパジャマに着替えます  
（下着はパンツのみ着用可能です）
- 指輪や湿布、ピアスは外してください。コンタクトは使用できません。
- マニキュア、ペディキュアは取ってください。
- 手術の前に、病棟で点滴を行います。  
点滴は翌日朝までおこないます。



## 手術までの時間の過ごし方

### ◆ 手術までは、病室内で、できるだけお過ごしください。

- 手術前に歯磨き・うがい・舌ブラシなど行い、口腔内を清潔にしましょう。  
看護師にて口の中の状態をチェックします。



## 手術室へ移動します

- 手術室へは、看護師と一緒に歩いていきます。ご家族は手術室の扉まで一緒に行くことができます。場合によっては一緒に入ることもできます。  
(体調によっては、車椅子で行くこともあります)
- 抜歯後も同じベッドへ戻るのので、荷物はそのまま置いてください。
- 貴重品は金庫や家族へ渡してください。
- ご家族の方は、手術前の椅子や家族控え室、2階のデイルーム・ダイニングまたは、病室でお待ちください。



pixta.jp - 12796253

## 手術を行います

- 手術室に入室しましたら、名前の確認をします、ネームバンドを確認します。
- 手術室のベッドに横になり、心電図のシールや血圧計など体に付けます。
- 点滴のところから、眠たくなる薬・痛み止めを使用し麻酔を行います。  
麻酔をして1～2分で眠たくなります。
- 痛み止めの麻酔を行って、手術をします。それでも痛いこともありますので、大きな声で担当医に痛みがあることを伝えてください。



- 手術の最後に、口の中に止血用噛みガーゼを入れます。病室までそのまま噛んでください。  
噛んでいないと、出血してしまうので、しっかり噛んでください。

## ◆ 手術終了

- 病棟看護師が車椅子にてお迎えに行きます。  
(眠りが深い場合は、ベッドで戻ることもあります)  
手術が終わってひと安心となります。  
心配なことなどありましたら、担当の看護師に声をかけてください。



## 手術を終え、病室へ戻ります

- 部屋に戻りましたら、ベッドに休んでいただきます。
- 1時間程度は、安静になります。体温・脈拍・血圧など測定します。
- 部屋に戻っても、1～3時間ほどは、眠り薬（鎮静剤）の効果のために、眠気が強い場合があります。  
30人に1人は、眠り薬で吐き気や頭が痛くなる方があります。



- 口の中には、止血用のガーゼが入っています。止血のためにガーゼを噛むことは重要ですので、しっかり噛むようにしてください。
- 血がたくさん出る場合は、遠慮なくコールして下さい。

## 止血の確認

- 30分後の抜歯部の止血の確認をします(噛みガーゼを外して、状態を確認します)  
(まだ、血が出る場合は追加で、噛みガーゼを行い、再度確認します)

翌朝あたりまで、にじむ程度の出血は続きますが、心配ありません。

## ◆ 初回の歩行について

- 1時間程度の安静後にトイレに行くなど歩行が可能になります。
- 初回歩行時は看護師が付き添います。  
必ず、ナースコールで知らせてください。  
(麻酔の影響などからふらついたり、気分が急激に悪くなる場合があります)
- 安静にさせていただくことで、腫れが少なくすみますので、無理なく過ごしましょう。



## ◆ 術後の食事について

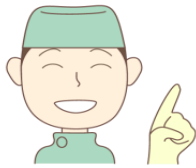


- 止血が確認できたら、水分が取れます。
- 2～3時間で麻酔効果がなくなります。口唇をさわって感覚がわかるようになってから食事をしましょう。
- 麻酔のため、マヒしているので水分がうまく口の中にとどまらずこぼれる場合があります。また、頬の内側の肉を噛むことがあります。麻酔効果がきれてからゆっくり食事をしましょう。
- 麻酔のため、温度感覚がマヒするので、食べものや飲み物などの温度には気を付けて下さい。
- 食事後に、体温・脈拍・血圧など測定します。口腔内状態を確認します。
- 食後には、うがい・歯磨きを行いましょう。  
(うがいや歯磨きについては、下記の部分を参照して下さい)



## ◆ 抗生剤の点滴を行い、一旦点滴を終了します

- 抗生剤の点滴を行い、持続的な点滴は終わります。着替えも可能になります。
- 翌日の朝にも抗生剤の点滴をおこないます。



## 術後に注意しなければいけないこと

### 痛みについて

- 麻酔がきれて、抜歯部分の痛みがある場合はすぐに、看護師へお知らせください、痛み止めの内服・点滴を状況に応じて用意します。我慢せず、申し出てください。
- 1日2～3回ほど鎮痛剤を使用する方が多いです。（4本の親知らずの抜歯では平均6回使用します）



### 腫れについて

- 術後は顔の腫れが退院後も数日間続きます。顔の腫れは、2日目がピークで、4日目あたりから引いてきます。それ以降の腫れが続く場合は、感染を疑います。
- 腫れは、傷口を治そうとする作用として腫れているため、自然の反応です。冷やさずそのまま過ごしましょう。冷やしすぎた場合は治癒が遅れる場合があります。

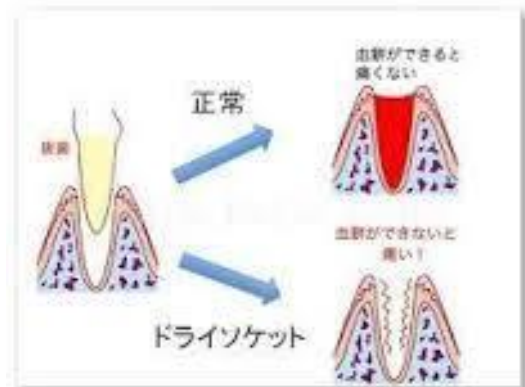


### うがいについて

- 激しく強いうがいは控えてください。水をそっと口に含んで、静かに吐き出すようにしましょう。
- 激しいうがいをして、患部にたまった血を洗い流さないようにしてください。患部にたまった血は、血餅と呼ばれる赤色や赤黒い色のゼリー状のかさぶたになり、患部を保護します。
- 強い刺激で血餅が取れると、治癒が遅れ、あごの骨がむき出しになり強い痛みがある場合があります。（ドライソケット）

## ドライソケットとは

- 歯を抜いた後、歯があった場所にはジェル状になった血の塊ができます。
- これが骨を覆ったのち、半年くらいかけて骨が作られて歯を抜いたところの穴がなくなっていきます。
- このかさぶた、血の塊が形成されず、骨がむき出しになってしまった状態を**ドライソケット**と言います。ドライソケットになった場合は食べ物がしみるような痛みがあり、10日たっても痛みが引いていきません。このような場合は早めに病院を受診しましょう。



## 歯磨きはやさしくする

- 多くの場合、傷口を糸で縫合します。歯磨きをするときに糸を引っかけてしまい取れてしまうことがあります。歯磨きの際には術創まで、小刻みに少しの力でやさしく丁寧に磨くようにしてください。
- 歯磨き粉は使用しません。
- 縫合してある糸を触ってしまうと取れてしまうことがあります。糸は気になるとは思いますが、舌で触らないようにしましょう。なめると治癒が遅れます。



# 手術翌日

## ◆ 抗生剤の点滴を行います

- 朝6時から7時前後に、抗生剤の点滴を行います。  
点滴が終了しましたら、針を抜きます。
- 体温・脈拍・血圧など測定します。口腔内の腫れや止血状態、患部の血腫の有無などを確認します。

## ◆ 朝食（7時30～8時ごろ）

- やわらかい食事がきます。
- 食後はもう一度、口腔ケア（はみがき・うがい）をしてください。  
（回診で、医師が口腔内の状態を確認します、キレイにしましょう）



## ◆ 回診（9時～10時ごろ）

- 口腔外科の医師が回診をします、または、外来での診察をします。
- 出血していない・食事がとれる・歯磨きができ口腔内がきれいに保てていることを確認してから退院の許可がでます。
- 回診後に退院の手続きを行います。



会計が終わりましたら、退院後の生活の説明をします。

処方薬などお渡します。病室内の忘れ物がないことを確認しましたら、退院となります。



# 退院後の生活について

## 痛みと腫れについて

- 通常は、抜歯する時よりも、抜歯した後の方が痛く、苦しいものです。
- 腫れは2日目に、痛みは初日にピークとなります。
- 腫れについては、抜歯したことに対する正常な反応なので、心配はいりません。通常は、4～7日程度の時間をかけて、腫れはゆっくり引いていきます。腫れが2週間も続くようであれば感染が疑われます。すぐに相談しましょう。
- 痛み止めの薬は5回分、処方されます。不足の場合は再度受診し取りに来てください。



## 運動について

- 抜歯後は激しい運動を行うと血液の循環がよくなり、血が止まりにくくなります。出血が完全に出なくなってから、運動を行うようにしてください。
- 激しい運動は、腫れや痛みの原因となりますので、1週間程度は控えてください。

## 食事

- 体力の低下は免疫力が下がり抜歯後の治りを遅くします。食べにくくても、しっかり栄養があるものを食べてください。
- 普通の食事を食べてもらって構いませんが、柔らかく消化の良いものを食べてください。例えば、お粥や雑炊、ゼリー、プリン、豆腐、野菜の煮物、麺類、ラーメン、パスタ、パンなどがおすすめです。
- 抜歯後の体調の変化、痛みの感じ方は人それぞれで、固形物を食べられないことがあります。



## アルコール類、香辛料など刺激物

- お酒やトウガラシなどの刺激物は血行が良くなり、出血が多くなる可能性があります。血が出ている間はアルコール類、刺激物は控えましょう。
- 特にお酒とたばこは、一旦引いた腫れが再び、腫れて痛くなることがありますので控えましょう。



## 硬いたべもの

- おせんべいなど硬いものは歯を抜いたところを傷つける可能性や、噛む強さや噛む場所がわからず唇やほほ、歯肉に傷をつくる恐れがあります。抜歯後一週間程度は控えましょう。
- 噛んだとき抜いた隣の歯に負担がかかったり、傷口が開いてしまったりする恐れがありますので避けましょう。
- 噛む強さや噛む場所がわからず唇やほほ、歯肉に傷をつくる可能性があるため、避けましょう。
- また、ゴマなど小さくて硬いものは隣の歯の痛みを引き起こすことや、歯を抜いた穴に入って気持ち悪いことがあります。



## 抜歯後に食事をしたら、穴にご飯が詰まり痛くなったが、どうすればいい??

- 穴にご飯がつまってしまうても、自分ではとらないようにしましょう。穴に入ってしまったご飯はそのままにしておいて構いません。無理にとろうとすると、傷口が開いてしまったり、バイ菌が入ってしまったりします。
- 2日以降は、食べたらずぐにうがいをするのが一番いいでしょう。
- 特に吸う力や激しいうがいで詰まってしまった食べ物を出そうしないでください。ドライソケットの原因になります。食べ物が入って痛い時は、病院に相談しましょう。

## 処方された薬は必ず飲みましょう

- 内服薬を処方します。
- これらは指示通りに飲みましょう。抗生剤を処方しています。感染症を予防するためのものなので、必ず服用を続けてください。
- 痛みが強くなった場合は、我慢せずに痛み止めを服用してください。
- 痛み止めの薬は5回分、処方されます。不足の場合は再度受診し取りに来てください
- しかし、かゆみや蕁麻疹、息苦しさがでた場合は、内服を中止し病院へご連絡ください。



## 受診について

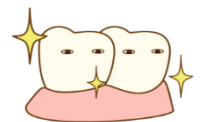
- 次回受診の予約があります。
- 退院時に日時を案内しますので受診をお願いします。受診日より前に、ズキズキするような痛みやひどくなる腫れ、発熱、あふれ出るような出血がありましたら、病院へご連絡ください。

碧南市民病院 TEL 48-5050



## 抜糸について

- 外来もしくは、かかりつけの歯科医院で行います。
- 抜糸は時間がかかる処置ではありません。
- 糸をハサミで切って抜き消毒をします。その際、親知らずの抜いた場所を消毒し、食べかすが詰まっていれば、洗浄して取り除きます。
- また、痛みが続いているようであれば抗生物質や痛み止めをお出しします。抜歯後の歯茎が完全に治るには1ヶ月ほどかかります。歯茎の中の骨が完全に回復するには3～6ヶ月程度かかります。ただし、傷口がある程度治っていれば普通の生活をして大丈夫です。



入院・手術お疲れ様でした。お大事にしてください。

<http://www.city.hekinan.aichi.jp/HOSPITAL/>

(碧南市民病院のHP)

[http://www.city.hekinan.aichi.jp/HOSPITAL/sinryouka/22\\_kouku.htm](http://www.city.hekinan.aichi.jp/HOSPITAL/sinryouka/22_kouku.htm)

(歯科口腔外科のページ：抜歯後の注意書きがあります。参考にしてください)



碧南市民病院 HP



歯科口腔外科 HP

## 碧南市民病院理念

碧南市民病院は、「温かな心のこもった医療」の提供を病院の基本理念として掲げます。

病院は地域における中核病院として必要な医療機器を設置するとともに、職員一同日々進歩する医療に対して自己研鑽（さん）を行い、市民生活にとって大切な救急医療を重視し、チーム医療による高度医療を行うとともに、リハビリテーション医療にも力を注ぎ、患者中心のより質の高い医療の提供に努めます。併せて、地域医療機関との病診連携を密にし、地域住民から「愛され、選ばれうる病院」を目指します。